

保谷 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（第一学習社『標準現代の国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わり、思いや考えを深め、言葉のもつ価値への認識を深める。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>本文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。</p>	<p>文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>単元：ことばの働き 【知識及び技能】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>教材 『水の東西』山崎正和 『ものごとば』鈴木孝夫</p> <p>指導項目 ・叙述をとらえて要旨を把握する。 ・言葉の特徴や使い方を知る。 ・接続詞や指示語に着目する。</p> <p>端末の活用</p>	○	○	○	<p>①言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔I1ア〕</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕</p> <p>③筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。</p>	○	○	○	7
					<p>得点</p>	○	○	1	
<p>単元：書き言葉の技術 【知識及び技能】自身の考えを深めたり、適切に表現したりするための基本的な方法を身につける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】さまざまな事柄に対して関心を持ち、主体的に取り組む態度を培う。</p>	<p>教材 『解法のテクニック1』啓隆社</p> <p>指導項目 ・文章構造を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ・文章の構成を意識し、的確にまとめる。</p>	○			<p>①文や話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔I1オ〕</p> <p>②「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や表現の工夫を工夫している。〔B1ウ〕</p>	○		○	2
						○	○	4	
<p>単元：ことばの働き 【知識及び技能】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>教材 『言語としてのピクトグラム』本田弘之</p> <p>指導項目 ・論理的な文章を読み、引用や要約をしながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>端末の活用</p>	○	○		<p>①図表等を伴う文章を読み、本文の内容を正しく理解している。〔I1ア〕</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕</p>	○	○	○	4
						○	○	5	
<p>単元：新しい視点 【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】異なる種類の文章を積極的に読み比べて、それぞれの筆者の立場を理解したうえで、学習課題に沿って自分の考えを深めようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>教材 『政治的思考』杉田敦 『解法のテクニック1』啓隆社</p> <p>指導項目 ・叙述をとらえて要旨を把握する。 ・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使用する。 ・文章の構成を意識し、的確にまとめる。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考える。</p>	○	○	○	<p>①実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法などを理解し、文章の中で使うことを通じて語彙を豊かにしている。〔I1エ〕</p> <p>②「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。〔C1イ〕</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。〔A1イ〕</p>	○	○	○	5
						○	○	1	
<p>単元：社会と文化 【知識及び技能】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>教材 『人はなぜ仕事をするのか』内田樹</p> <p>指導項目 ・叙述をとらえて要旨を把握する。 ・情報を関連づけて読み深める。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。</p>	○			<p>①比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。〔I1カ〕</p> <p>②「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。〔C1イ〕</p>	○		○	5
						○	○	5	
<p>単元：解釈を述べる 【知識及び技能】比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p>	<p>教材 『日本語は世界をこのように捉える』小浜逸郎</p> <p>指導項目 ・論理的な文章を読み、引用や要約をしながら、自分の考えをまとめる。 ・言葉や表現が読み手に与える印象を考えながら、条件に沿って文章を書く。</p>	○	○		<p>①比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。〔I1カ〕</p> <p>②「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。〔B1エ〕</p>	○	○	○	5
						○	○	5	

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組～8組

使用教科書: (第一学習社『標準言語文化』)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使う。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わり、思いや考えを深め、言葉のもつ価値への認識を深める。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の機能や使い方を、様々な文章に含まれている情報の読み取り、我が国の言語文化に関する知識を習得し、様々な場面で適切に活用することができる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に読めることができる。また、異なる時代に成立した作品を読み比べ、それらと比較して論じたり批評することができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	聞	読						
1学期 単元: 古典入門 【知識及び技能】 ①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりや調読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『児のそら寝』(宇治拾遺物語) 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用しリフレクションを行う。				①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B11ア】 ③『児のそら寝』を読み、用言の活用を学ぶことを通じて、言葉の構造やしくみについて積極的に理解しようとしている。また、寝話というジャンルの特徴を捉えようとしている。	○	○	○	12	
	単元: 受け継がれる古文 【知識及び技能】 ①文章の意味は文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『藤生門』(芥川龍之介)『今昔物語』 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる、内容を解釈する。 ・解釈を深め、自分の考えをもつ。 ・表現の効果を理解する。 一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用し解釈の交流を行う。			○	①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。【11-1】 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B11イ】 ③解釈を交流する活動を通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	13	
	定期考査						○	○		1
2学期 単元: 和歌による心の交流 【知識及び技能】 ①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『簡井筒』(伊勢物語) 指導内容 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・文章を評価し、解釈を深める。 ・自分の考えをもつ。 ・作品の背景を知る。 一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用し作品の背景について調べたことの共有を行う。			○	①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 ②「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B11イ】 ③解釈を交流する活動を通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	10	
	単元: 旅のなかで詠まれる句 【知識及び技能】 ①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『奥の細道』(松尾芭蕉) 指導内容 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・文章を評価し、解釈を深める。 ・自分の考えをもつ。 ・作品の背景を知る。 一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用し作品の背景について調べたことの共有を行う。			○	①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【2ウ】 ②作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈している。【B11エ】 ③解釈を交流する活動を通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○		1
	定期考査						○	○		1
3学期 単元: 現代にも生きる教え 【知識及び技能】 ①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②叙述をもとに解釈したり評価することを通して、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『徒然草』(兼好法師) 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・文章を評価し、解釈を深める。 一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用し解釈の交流を行う。				①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。【11-1】 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B11イ】 ③『徒然草』を読み、表現に着目しながら解釈することを通して、自らの考えを深めようとしている。	○	○	○	8	
	単元: 『夢十夜』(夏目漱石) 【知識及び技能】 ①文章の意味は文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会	教材: 『夢十夜』(夏目漱石) 指導内容 ・内容、構成、展開をとらえる、内容を解釈する。 ・解釈を深め、自分の考えをもつ。 ・表現の効果を理解する。 一人1台端末の活用 等 ・ロイロノートの共有ノート機能を活用し解釈の交流を行う。			○	①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。【11-1】 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。【B11イ】 ③解釈を交流する活動を通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
									合計	70

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組～8組

使用教科書: (高等学校 新地理総合(帝国書院)、新詳地理資料COMPLETE2023(帝国書院)、コンパクト地理総合地図(二宮書店)

教科 地理歴史

【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力

【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目 地理総合

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the subject.

Main curriculum table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時数. It details the content and assessment for each unit across three semesters.

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合
 対象学年組：第1学年 1組 8組
 使用教科書：（『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』（山川出版社））
 教科：地理歴史
 【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力
 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力
 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその内なる相互の関係を視野から捉え、近現代の歴史を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や特色、相互の関係を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 産業革命による工業化、中国の開港と日本の開港、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界市場の形成などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 歴史の原 ②歴史的特質と資料 ＜第1部 第1章 結びつく世界と日本の開港＞ 「近代化と私たち」について関心を表現する ③東洋の東アジアにおける社会と経済 ④貿易が結んだ世界と日本 ⑤中国の開港と日本の開港 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 産業革命による工業化、中国の開港と日本の開港、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界市場などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
中間考査		<p>【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】 市民革命、ナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 市民革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 ＜第1部 第2章 国民国家と明治維新＞ ①市民革命 ②国民国家とナショナリズム ③日本の産業革命 ④帝国主義 ⑤東洋の東アジアの国際秩序 ⑥第一次世界大戦と東アジアの激動 「近代化と現代的な諸課題」について考察・表現する 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 市民革命、ナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
期末考査		<p>【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】 第一次世界大戦と戦後の国際協調体制の成立、ワグネル体制の成立などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 ＜第2部 第3章 総力戦と社会運動＞ ①軍備競争の激化と大衆化と私たち ②第一次世界大戦の展開 ③ワグネル体制の成立とアメリカ合衆国の台頭 ④ワグネル体制とワシントン会議 ⑤大衆の台頭と社会文化 ⑥アジアのナショナリズム ⑦大衆の政治参加 ⑧第一次世界大戦と社会文化 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦と戦後の国際協調体制の成立、ワグネル体制の成立などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワグネル体制などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
中間考査		<p>【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 ＜第2部 第4章 経済危機と第二次世界大戦＞ ①世界恐慌の時代 ②ファシズムの横暴と共産主義 ③中東欧への道 ④第二次世界大戦の展開 ⑤国際連合と国際経済体制 ⑥冷戦と戦後改革 ⑦冷戦の終りと東アジア諸国の動向 ⑧日本の独立と日米安全保障条約 ⑨国際秩序の変化と大衆化と現代的な課題」について考察・表現する 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
期末考査		<p>【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】 脱植民地化と第三世界の形成、核兵器の開発と国際関係、高度経済成長などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 脱植民地化などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 脱植民地化などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 ＜第3部 第5章 冷戦と世界経済＞ ①グローバル化と私たちについて関心を表現する ②冷戦下の地域競争と脱植民地化 ③冷戦終結後の動向と1980年代の社会 ④軍拡競争から緊張緩和へ ⑤冷戦終結後の国際関係 ⑥計画経済とその波及 ⑦日本の高度経済成長 ⑧アジアの民主化と東アジア諸国の動向 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>【知識及び技能】 ルンペンとオイルショック、開発途上国、冷戦の終結とソ連の崩壊、地域統合と地域紛争などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ルンペンなどについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】 ＜第3部 第6章 世界秩序の変容と日本＞ ①冷戦終結 ②アジア地域の経済発展 ③市場開放と経済的自由化 ④情報技術革命とグローバル化 ⑤冷戦の終結とソ連の崩壊 ⑥現代の東アジア ⑦東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 ⑧地域統合の拡大と変容 ⑨地域紛争と国際社会 ⑩「脱植民地化と大衆化と現代的な課題」について考察・表現する 【教材・一人一台端末の活用】 教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノットを活用</p>	<p>【知識・技能】 第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
学年末考査		<p>【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

使用教科書: 高等学校 数学 I

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を培う。また問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の発揮を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
数と式 式を扱うための基本的な用語や計算の法について理解する。また、式を一つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなど、目的に応じた式の見方ができるようにし、既に学習した計算方法と関連付けるなど、式を多面的に捉える力を培う。	数と式 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 実数 根号を含む計算	【知識・技能】 単項式や多項式、同項項、次数などに関する用語を理解し、加法や減法などの計算ができる。乗法則や分配法則を用いて計算ができる。式を理解し、展開や因数分解ができる。共通因数をくり出して因数分解ができる。有理数が整数、有限小数、循環小数を理解し、分数を循環小数で、循環小数を分数で表すことができる。絶対値の意味を理解し、実数の絶対値を求めることができる。根号を含む式の加法、減法、乗法、除法の計算ができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。式を1つの文字におき換えたり、種の組み合わせを工夫したりすることで、式の展開を簡略化することができる。実数の絶対値を用いて数直線上の距離を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】				12
定期考査						1
集合と命題 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめた数の体系についての理解を深め、実数が四則演算に関する閉じていることや、数直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。また、命題と真偽の四則計算や分符の有用化ができるようにする。	命題と証明 命題と条件	【知識・技能】 必要条件、十分条件、同値を理解し、その判定ができる。条件の否定の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 対偶を用いて命題を証明することができる。命題論理を用いて命題を証明し、十分条件について集合と関連付けて理解したり説明したりしようとする態度がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】				8
2次関数 関数とそのグラフについて理解する。また、2次関数のグラフの特徴について、頂点の平行移動と関連付けて理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	関数とグラフ	【知識・技能】 関数の定義を理解し、関数式で表すことができる。関数のグラフの意味を理解している。放物線の軸、頂点などについて理解し、2次関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して考察できる。放物線の平行移動について、x軸方向、y軸方向などの用語を用いて表現できる。最大値、最小値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 【主体的に学習に取り組む態度】				15
定期考査						1
2次関数 2次関数の最大値、最小値をグラフを用いて求められるようにし、それを様々な事象の考察に活用できるようにする。また、条件から2次関数を決定できるようにする。	2次関数のグラフ 2次関数の最大値・最小値 2次不等式	【知識・技能】 2次関数の最大値または最小値をもつことを理解し、求めることができる。2次関数の定義域が制限されている場合に最大値と最小値を求めることができる。与えられた条件から2次関数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。定義域が変化するときやグラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。2次関数の条件に興味、関心をもち、考察しようとする。				14
定期考査						1
2次方程式と2次不等式 2次方程式も2次関数のグラフとx軸の関係から考察し、2次不等式が解けるようにする。	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係	【知識・技能】 2次方程式も、因数分解や解の公式を利用して解くことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次方程式の解の公式・判別式との関係を理解し、解の判別利用できる。解がない場合など特別な場合も含めて、2次関数のグラフを用いれば2次不等式を解くことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の位置について、グラフを利用して解決できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次方程式の解を考察する際に、2次関数のグラフを積極的に利用しようとする。1次方程式と1次関数の関係をもとに、2次不等式と2次関数の関係を考察しようとする。				14
定期考査						1
【三角比】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量を行うなど、三角比を事象の考察に活用できるようにする。正弦定理、余弦定理について理解し、それらを選択的に用いて三角形の辺や角を求めるようにし、あわせて三角形の面積も求められるようにする。また、これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	三角比 三角比の相互関係 正弦定理・余弦定理	【知識・技能】 三角比の定義を理解し、直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値がわかっているとき、残りの2つの値を求めることができる。90°-θの三角比の公式を利用して、ある角の三角比を別の角の三角比で表すことができる。鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について、三角比を用いて捉え、三角比の値からそれらを求めることができる。3つある三角比の相互関係のそれぞれをどのような場面で用いるか判断することができる。角の値によって三角比の値がどのように増減するか、適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の値が三角形の大きさによらず、角の大きさだけで定まることに関心をもつことができる。三角比の相互関係を、三角比の定義と平方の定理などから導出しようとする。正弦定理、余弦定理を証明しようとする。				26
【データの分析】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じてデータの種類のデータを集め、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確かな事象の起りやつきに着目し、首肯の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	データの整理 データの代表値 データの散らばりや四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の解法 仮説検定の考え方	【知識・技能】 平均値、中央値、最頻値、範囲、四分位数、相関係数などの定義や意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握することができる。 【思考・判断・表現】 データの分析の仕方によって、適切な代表値を求める必要があることを理解している。データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察することができる。変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができる。データの相関や散布図や相関係数を利用して説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察しようとする。変量の変換によって平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。				11
定期考査						1
						合計
						105

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 8組

使用教科書: (高等学校数学A(数研出版))

使用教材: (4プロセス数学I+A)

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学的の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	1章 場合の数と確率 場合の数を求めるための基本的な考え方について理解する。また、様々な場合の数を求めるための公式について、それを適用するだけにとどまらず、公式が導出される過程についても理解し、様々な場合の数の数に活用できるような力を培う。	①集合の要素の個数 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	1	
	1章 場合の数と確率 場合の数を求めるための基本的な考え方について理解する。また、様々な場合の数を求めるだけにとどまらず、公式が導出される過程についても理解し、様々な場合の数の数に活用できるような力を培う。	②場合の数 ③順列 ④組合せ ⑤事象と確率 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	10
定期考査		○	○	○	1		
2 学期	1章 場合の数と確率 確率の意味とその表し方や性質について理解し、場合の数の求め方を活用するなどとして、様々な事象の確率を求められるようにする。また、試行の独立について理解を深め、反復試行の確率や条件付き確率を求められるようにする。さらに、期待値について理解し、それを求められるようにするとともに、様々な判断に用いるような姿勢を養う。	⑥確率の基本性質 ⑦独立な試行と確率 ⑧条件付き確率 ⑨期待値 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	16
	定期考査		○	○	○	1	
2 学期	2章 図形の性質 平面図形の様々な性質について、その証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できるような力を培う。	①三角形の角の二等分線と辺の比 ②三角形の外心・内心・重心 ③チェバの定理・メネラウスの定理 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○	1	
3 学期	2章 図形の性質 平面図形の様々な性質について、その証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できるような力を培う。 様々な空間図形の性質について、平面図形との違いにも注目しながら理解し、様々な事象の考察に活用できるようにする。	④円に内接する四角形 ⑤円と直線 ⑥2つの円 ⑦作図 ⑧直線と平面 ⑨多面体 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	23
	定期考査		○	○	○	1	

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年級: 第1学年 1組 8組

使用教科書: (化学704「化学基礎」 実教出版)

教科 理科 の目標:
【知識及び技能】 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

Table with 4 columns: 知識及び技能, 思考力、判断力、表現力等, 学びに向かう力、人間性等, 日常生活や社会との関連を深めながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 感, 記述技能. Rows include 1学期 (物質の構成, 物質と化学結合) and 2学期 (物質と化学反応式, 酸と塩基).

高等学校 令和6年度 教科

理科

科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校 生物基礎 数研出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を回りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>生物の特徴</p> <p>【知識及び技能】 生物の特徴について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見いだして表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究のプロセスや手法を理解する。顕微鏡の使い方を習得する。 多様な生物にも共通性があることを理解する。多様な生物に共通性が見られる理由について理解する。 生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。 呼吸や光合成ではATPが合成されていることを理解する。生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行していることを理解する。 DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解すること。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の使用手法や、グラフ等の読み取り方法を理解している。実験方法や歴史から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験結果やグラフ等を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡を用いて探究的に学ぼうとする態度がある。クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。 	○	○	○	30
	<p>ヒトの体の調節</p> <p>【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解すること。 体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解すること。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解すること。 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解すること。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。 自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖濃度が調節されるしくみを理解する。 糖尿病の原因を理解する。 自然免疫・適応免疫のしくみと、それにはたらく細胞の役割を理解する。 免疫記憶のしくみを理解する。 免疫のはたらきが低下したり過敏になったりすることで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動によって心拍数が増加するしくみを考察し、説明できる。 健康な人の食事の前後における血糖濃度・インスリン濃度のグラフをもとに、血糖濃度とインスリン分泌の関係に気づき、説明できる。 健康な人と糖尿病患者の食後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフの比較に基づいて、糖尿病患者の血糖濃度が低下しない理由を考察し、説明できる。 同じ抗原が2回体内に侵入したときの抗体産生量のグラフから、抗体産生の速さや抗体量の違いを読み取り、説明できる。 免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを述べることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な経験から、クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。 	○	○	○	25
2 学期	<p>C 生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解すること。 また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解すること。 生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性とは関連付けて理解すること。 生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識すること。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系の関係図や、グラフ等の読み取り方法を理解している。資料や観察から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験結果やグラフ等を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な活動の中で探究的に学ぼうとする態度がある。クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。 	○	○	○	15
	<p>合計</p>						70

週ごとの指導計画(単元指導計画)

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 芸術科 科目 音楽 I

教科: 芸術科

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

使用教科書: (MOUSA1)

【知識及び技能】芸術に関する特質について理解し、表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わうことができる。

【学びに向かう力、人間性等】互いの存在、表現を認め合い、高め合う力を育成する。

題材の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようになる。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

	具体的な指導目標	指導項目・内容	表現						鑑賞	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)				
			歌	器	創									1 組	3 組	5 組	7 組	8 組
1 学期	歌唱	校歌	○							○	○	○	【知識・技能】 きちんとした発声を意識しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っているか。	4/18, 25, 5/9				
	ボディーパーカッション	Plymouth Rock		○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、表して	5/16, 30, 6/6, 13, 20, 27				
2 学期	ギター 弾き語り	カントリーロード 日曜日よりの使者 夢の中へ		○						○	○	○	【知識・技能】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、	9/5, 19, 26, 10/10, 24, 11/7, 14				
	鑑賞	ハイスクールミュージカル								○	○	○	【知識・技能】 音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 曲や演奏に対する評価	11/28, 12/5				
3 学期	合唱	あなたへ	○							○	○	○	【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱の表現形態の特	1/16, 23, , 2/20				

年間授業計画

保谷 高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションI 単位数: 4 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 8組

使用教科書: (ELEMENT I 啓林館 ELEMENT I Workbook Standard)

教科 外国語 の目標:

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語句、表現、文法、言語の働きなど理解を深めるとともに、状況などに応じて適切に活用できる技能身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目 英語コミュニケーションI の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語彙・表現、文の構造、言語の働き、音の変化などについて、日本語と外国ととの違いに気づき、これらの知識を理解する。	語順やパラグラフの論理展開を意識しながら、文章を正しく読み取り、正しい語順や語彙で自分の気持ちや考えを伝え合うことができる。	授業や課題に主体的に取り組み英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
		聞	読	話	書						
1 学期	Lesson 1 Intercultural Relationships 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】ワシントンの桜の本を通して異文化理解に触れる	聞くこと・強弱のリズム 読むこと・5文型、受動態、不定詞を用いた文の構造の理解 話すこと・内容についてのリテリング 書くこと・アメリカからの交換留学生に自己紹介のメールを書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	15
	Lesson 2 Love beyond Species 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】野生の動物との交流を通して動物が人間に対する受があるのかを問う	聞くこと・つながりや近い音聞き取る 読むこと・現在完了形、現在完了進行形・分詞の限定用法を用いた文の構造を理解する 話すこと・内容についてのリテリング 書くこと・ストーリーレポートを書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	14
	中間考査							○	○		1
	Lesson 3 Contributing to Our Planet 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】パリの島のプラスチック問題について考え、地球規模の環境問題を考えさせる	聞くこと・消える音・弱くなる音を聞き取る 読むこと・関係代名詞、使役動詞を用いた文の構造を理解する 話すこと・身近な環境問題について話合う 書くこと・ボランティアに参加するように誘うメールを書く。 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	15
	Lesson 4 Messages for World Peace 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】二重被ばくの現実を知らせるとともに平和について考えさせる	聞くこと・具体的な諸注意やアナウンスを読み取る 読むこと・過去完了形・近く動詞を用いた文の構造を理解する 話すこと・山口さんの願いを継ぐために自分たちがすべきことを語らう 書くこと・平和について自分の意見を書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	14
定期考査							○	○		1	
2 学期	Lesson 5 Respecting Each Other 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】野球の投手と審判を行った審判についての物語を読み登場人物の心情をおさえる	聞くこと・身近な人や物について話している言語を読み取る 読むこと・関係代名詞のwhat、関係副詞を用いた文の構造を理解する 話すこと・内容についてのリテリングをする 書くこと・困難な状況にある友人を元気づけるメールを書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	15
	Lesson 6 Language and Culture 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】言葉には力があり物語には人と人をつなぐ力があることを理解させる。	聞くこと・ラジオニュースを読み取る 読むこと・関係代名詞の非制限用法、分詞構文を用いた文の構造の理解 話すこと・内容についてのリテリングをする 書くこと・日本文化を楽しむ場所の発表 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	14
	中間考査										1
	Lesson 7 Technology and Discoveries 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】人が偶然に思いがけない発見をすることがある。偶然の発見の面白さを感じてもらう	聞くこと・科学イベントの講演の内容を読み取る 読むこと・形式主語のit、be動詞の補語になるthat節の文の構造を理解する 話すこと・歴史上最も偉大な発明は何かについて話合う 書くこと・電子書籍より紙の書籍を好む理由を書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	15
Further Reading 1 Toward Sustainable Development Goals 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】SDGsのスピーチを通して真実とは何かを問う	読むこと・SDGsについてのスピーチを読み、情報の事実と意見を整理する。	○	○				○	○	○	14	
3 学期	Lesson 8 Standing Up for Human Rights 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】南アフリカで行われたサカカールドカフの1つに沿って書く 毎時間一人一台端末を使用予定	聞くこと・人権を守る試みについての会話を聞き取る 読むこと・仮定法過去、仮定法過去完了、過去完了進行形の文の構造を理解する 話すこと・内容のリテリングをする 書くこと・人権の状況の変化を時系列に沿って書く 毎時間一人一台端末を使用予定	○	○	○	○		○	○	○	13
	communication in Practice I 【知識・技能】文法・語彙・文の構造 【思考力・判断力・表現力等】英作文・スピーキングでの表現 【学びに向かう力・人間性等】アミューズメントパークの専用用語を学び、相手に提案したり説得するなどのコミュニケーションを円滑にする言い方などをおさえる	読むこと・アミューズメントパークのパンフレットを読み、必要な情報を読み取る 話すこと・どの順番でアトラクションやアクティビティ、昼食をとるかにについて話合う 書くこと・これまで行ったことのあるアミューズメントパークのおすすめを書く	○	○	○	○		○	○	○	8 合計 140

